

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	天神東宝ビル	階数	地上12F
建設地	福岡県福岡市中央区天神2丁目96	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	360 人
地域区分	7地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2019年1月8日
敷地面積	1,042 m ²	作成者	福山 泰成
建築面積	695 m ²	確認日	2019年1月8日
延床面積	7,630 m ²	確認者	福山 泰成



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 福岡でも人気の西通り・大名地区の入口に位置する敷地に、都心の喧騒を忘れさせる宿泊主体型ホテルを計画します。1階にはレストランを展開し、街のにぎわいを創出します。		その他 既存建物の地下躯体を残し、その内側で当該建物を計画することで廃棄物削減にも配慮した計画としています。
Q1 室内環境 給気、排気を建物の別の面から取り込むことで室内空気環境に配慮しています。	Q2 サービス性能 電気熱源とガス熱源を併用したマルチ給湯システムを採用しています。 客室と共用部で空調系統分けを実施しています。	Q3 室外環境 (敷地内) 燃焼設備の排熱は屋上にて開放しています。
LR1 エネルギー LED照明やエネルギー消費量の少ない設備機器を導入します。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用を始め、既存躯体を再利用する計画としています。	LR3 敷地外環境 敷地の妻側アプローチ部には、定められた空地の中に緑を配し、都市温熱環境の改善を図る計画としています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される